

課題名	107 カキ果実害虫類の発生生態と総合防除	分類	①																														
	(2) カキのフジコナカイガラムシに対するアブロード水和剤の効果																																
試験研究年次	63～1年(完了)																																
I 目的 カキのフジコナカイガラムシに対するアブロード水和剤の効果的な防除法を確立する。																																	
II 試験方法																																	
1 農薬の種類と効果試験(昭和63年)																																	
(1) 試験場所 : 筑紫野市吉木 農総試験内圃場																																	
(2) 供試品種・樹令 : “伊豆”、“富有”、各8年生 1処理5～6樹を供試																																	
(3) 散布月日・方法 : 6月14日、6月28日、7月18日、8月1日、8月19日いずれも動力噴霧機を使用し十分量散布																																	
(4) 調査方法 : 散布前の6月6日に任意に果実を選び果実上での寄生状況を調査し、散布後の9月19日に果実の被害状況を調査した。																																	
(5) 供試薬剤名 : アブロード水和剤1000倍、スミチオン水和剤1000倍、トクチオン水和剤800倍																																	
2. 散布回数試験(平成1年)																																	
(1) 試験場所 : 筑紫野市吉木 農総試験内圃場																																	
(2) 供試樹 : “富有”9年生 1区3～4樹																																	
(3) 散布月日・方法 : 下記の月日にいずれも動力噴霧機を使用して十分量散布した。																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">試 験 区</th> <th>6月12日</th> <th>6月22日</th> <th>7月4日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブロード水和剤</td> <td>1000倍 1回</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>2回</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>3回</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>サリチオン水和剤</td> <td>1000倍 2回</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>無 散 布</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				試 験 区		6月12日	6月22日	7月4日	アブロード水和剤	1000倍 1回	—	○	—	〃	2回	○	○	—	〃	3回	○	○	○	サリチオン水和剤	1000倍 2回	○	○	—	無 散 布		—	—	—
試 験 区		6月12日	6月22日	7月4日																													
アブロード水和剤	1000倍 1回	—	○	—																													
〃	2回	○	○	—																													
〃	3回	○	○	○																													
サリチオン水和剤	1000倍 2回	○	○	—																													
無 散 布		—	—	—																													
調査月日・方法 : 散布前の6月12日と散布後の7月19日、任意に果実を選び、果実上での発生状況を程度別に調査した。																																	
III 主要成果の概要																																	
(1) カキのフジコナカイガラムシに対しアブロード水和剤1000倍は対照薬剤のスミチオン水和剤1000倍、トクチオン水和剤800倍、サリチオン水和剤1000倍と比べて高い防除効果があり実用性が高い。																																	
(2) アブロード水和剤の散布時期として第1世代幼虫発生期の2回散布が効果的である。																																	

IV 主要成果の具体的データ

第1表 フジコナカイガラムシに対する薬剤の効果¹⁾(63年)

試 験 区	散布前 (6.6)		散布後(9.19)					被害度
	調査 果数	寄生 果率	調査 果数	程度別被害果率(%)				
				少	中	多		
アプロード水和剤 1000倍	536	4.9	154	2.6	0	0	0.4	
スミチオン水和剤 1000倍	466	19.3	51	17.6	31.4	13.7	32.4	
トクチオン水和剤 800倍	383	23.5	29	17.2	6.9	0	6.3	
無 散 布	430	13.7	75	0	2.7	97.3	98.7	

被害程度基準 { 少…わずかにススが発生するが実害なし (指数 1)
 中…少と多の中間の被害 (" 3)
 多…ススの発生が多く商品価値に大きく影響 (" 6)

第2表 フジコナカイガラムシに対する薬剤の効果 (1年)

試 験 区 (散布回数)	散布前(6.12)					散布後(7.19)				
	調査 果数	程度別寄生果率(%)			寄生 度 A	調査 果数	程度別寄生果率(%)			寄生 度 B/A
		少	中	多			少	中	多	
アプロード水和剤 (1回)	120	28.3	0.8	0	3.3	120	15.8	0	0	1.6 0.48
" (2回)	120	24.2	0	0.8	3.3	97	1.0	0	0	0.1 0.03
" (3回)	120	40.0	10.0	4.2	13.2	120	3.3	0	0	0.3 0.02
サリチオン水和剤 (2回)	82	30.5	3.7	0	4.9	62	6.5	1.6	0	1.5 0.31
無 散 布	81	34.6	13.6	1.2	11.5	68	38.2	26.5	20.6	37.6 3.27

寄生程度基準 少…1果当り成幼虫数1~5頭 (指数1)
 中… " 6~20頭 (" 5)
 多… " 21頭以上 (" 10)

V 成果の評価と取扱上の留意点

- 1 カキのフジコナカイガラムシの防除の資料となる。
- 2 アプロード水和剤は、カキのフジコナカイガラムシに対し平成2年5月に登録となった。

VI 今後の研究上の問題点

- 1 アプロード水和剤のフジコナカイガラムシに対する殺虫機構の解明
- 2 アプロード水和剤による防除適期の解明

VII 資料名

- 1 63年度、元年度福岡県農業総合試験場 生産環境研究所果樹病虫害に関する試験成績書
- 2 63年度、元年度農水省落葉果樹試験成績概要集 (虫害)